欧文印刷株式会社

坂戸事業所

環境活動レポート

対象期間：2013 年度、及び、2014 年度 4 月～7 月

作成日：2014 年 9 月 24 日
作成者：EMS 運用事務局
（品質保証室 岩井 貢）

１．環境方針

私たちの環境方針

【 基本理念 】

欧文印刷株式会社は、地球環境の悪化を抑制するために、私たちにできる最善の手立てを講じます。

【 基本方針 】

私たちは、基本理念を踏まえ、以下の環境保全に関する行動指針に基づき、環境マネジメントシステムを構築、維持、推進し、環境目的及び目標を制定し、定期的な見直しを行い、かつ、全社員による継続的な改善に努めます。

１．エネルギーの無駄な消費および資源枯渇の抑制に努めます。

２．業務に伴う産業廃棄物の発生の抑制に努め、リサイクルの向上を図ります。

３．環境負荷の少ない材料･資材･副資材を積極的に採用します。

４．環境に関する法規制および当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

５．この環境方針は、全社員および関連業務に従事する方々に周知させるとともに、一般に公開します。

2011 年 6 月 1 日
代表取締役社長
和田 美佐雄

2．本環境レポートの対象期間

2013 年度、及び、2014 年度 4 月～7 月

3．組織の概要

（1）事業者名

欧文印刷株式会社

（2）代表者名

代表取締役社長 和田 美佐雄

（3）事業所所在地・連絡先

欧文印刷株式会社（本社）
〒113-8484 東京都文京区本郷 1 丁目 17 番 2 号　　TEL：03-3817-5910 (代)

欧文印刷株式会社 坂戸事業所
〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 5 丁目 1 番 14 号　TEL：049-284-1954 (代)

（4）環境マネジメントシステムの責任者

環境管理責任者 執行役員総務部長 安田 克実
連絡先 TEL：03-3817-5910 (代)

運用事務局責任者 品質保証室部門長 岩井 貢
連絡先 TEL：049-284-1954 (代)

（5）事業内容

1）商業印刷物･取扱説明書･出版印刷物の企画、翻訳、制作から CTP、印刷、製本加工
2）オンデマンドパブリッシング･サービスの開発と販売
3）オリジナル商品の開発と製造･販売

（6）エコアクション 21 対象範囲：坂戸事業所

坂戸事業所責任者 統括部門長 大塚 弘
連絡先 TEL：049-284-1954 (代)

全組織への環境活動の拡大
更新審査後から本社への“坂戸事業所の環境活動”のガイダンスを展開し、2 回目中間審査後からは本社各部門を具体的な活動に参加させ、2 回目更新審査時に本社も対象範囲として受審します。

（7）事業規模（2014 年度 9 月現在）

従業員数　坂戸事業所：70 名（内、パート社員 16 名）
《 参考値 本社：73 名（内、パート社員 4 名・派遣社員 3 名）》
坂戸事業所 全敷地面積　：6,146 m^2
坂戸事業所 建物総延面積：4,457 m^2

（8）当社の“環境保全活動”の概要

2001 年 10 月　環境方針制定
2001 年 10 月　環境マニュアル制定
2002 年 3 月　 ISO 14001 認証登録
2011 年 3 月　 ISO 14001 第三者認証登録取り下げ（EMS は継続維持）
2013 年 4 月　 エコアクション 21 へのキックオフ（第 1 回経営協議会にて）

４． 環境目標及び環境目標の実績

◆ 2013 年度環境目標

（1）エネルギー使用による CO^2 排出量の前年度比 2%削減

- 実績： 0.49%増加

		電力（kWh）	LNG（m3）	総CO^2排出量	昨対削減比
2013年度	使用量	1,651,026.00	44,628.00	995.66	0.49%増加
	CO^2排出量（ﾄﾝ）	875.04	120.62		
2012年度	使用量	1,646,568.00	46,769.00	990.85	
	CO^2排出量（ﾄﾝ）	864.45	126.40		

目標は未達となりましたが、2013 年 10 月初旬まで続いた夏期の猛暑･酷暑下においても、2014 年 1 月･2 月の厳冬においても空調機器の無駄な使用を抑え、前年対比 0.49%増で抑えることが出来ました。当目標は、次年度(2014 年度)の目標として継続します。

- CO^2 排出係数について

電力は東京電力(株)の 2013 年度及び 2012 年度の排出原単位(係数)を、LNG は (社)日本印刷産業連合会推奨の係数と算式を採用しています。

・電力 ：2013 年度　使用量(千 kWh/1000) × 排出係数(0.530)
　　2012 年度　使用量(千 kWh/1000) × 排出係数(0.525)
・LNG ：使用量(t)/1000 × 単位発熱量(54.6) × 排出係数(0.0135) × 換算係数(3.6667)

- 削減への主な取組

・昼休み/休憩時間に於ける工場構内と事務所内の消灯徹底。
・作業者がいないエリアの空調機器停止(印刷部構内と CTP ルームは除く)。
・稼働予定無し製造機器の電源 Off 徹底。
・デマンド管理の遂行。

（2）産業廃棄物排出量の前年度比 5%削減

- 実績： 32.1%削減

2013 年度：36,086.0 kg　　2012 年度：53,128.5 kg　　前年度比：17,042.5 kg 削減
当目標は、次年度の目標として継続します。

- 削減への主な取組

・ブランケット洗浄廃液のリサイクル使用の継続。
・刷版現像廃液の水分離装置導入による廃アルカリ液排出量の削減と水の再利用。
・再生利用の促進：金属類の有価処理（インキ･溶剤の空き缶、使用済み PS 版等）。
・湿し水濾過循環装置導入による水使用量の抑制。
・廃プラスティック類と紙類の分別化促進：リサイクル原料として再利用化。

（3）水使用量（水資源の無駄な使用の抑制。用いた数値は工業統計資料用で暦年対比です）

坂戸事業所の事業活動は水を大量に消費するものではなく生活用水(上下水道)の使用が殆どです。印刷に用いる“湿し水”には“湿し水濾過循環装置(Regain や BS1)”を導入し、印刷品質安定化とともに水使用量の抑制に取り組んできました。目標を具体的な数値にして水資源削減に取り組んできたのではありませんが、2013 年の実績では前年対比で使用量は減っています。当活動についても次年度の活動として取り組みます。

- 実績：1.7%削減　　対比期間：2012 年 1 月～12 月

2013 年：1,210 m3　　2012 年：1,231 m3　　前年対比：21 m3 削減

（4）環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規等	適用事項（事業活動、施設、物質等）	遵守状況の確認
廃掃法	廃アルカリ・廃酸・廃油・廃プラスティック等	マニフェスト管理、運搬・処理委託契約
騒音・振動規制法	印刷機6台	工業専用地域
下水道法	廃アルカリ・廃酸・廃油等	マニフェスト管理、運搬・処理委託契約
有機溶剤予防規制	印刷溶剤、クリーナー等	有機溶剤作業主任者選定・講習受講済み。リサイクル原料処理。
PRTR法	IPA	PRTR非該当。 適正量使用（5%以内）。
埼玉県生活環境保全条例	駐車場内アイドリングストップ	遵守されている。掲示板経年劣化、要交換。

当社に適用される主な環境関連法規等は上記の通りです。現在に至るまで、上記と他の環境関連法規への違反も、近隣及び利害関係者からの苦情も、関係当局からの違反等の指摘・訴訟についてもありません。

（5）化学物質使用量の把握

環境 ISO14001 の取り組みを通じて、当社で使用する原材料・資材・副資材において PRTR 法指定物質に該当しその届出量に達しているものはないと判断し、詳細な量的把握については行って来ませんでした。今後は、EA21 の活動を通じて再調査し、化学物質使用量の把握に努めます。

（6）不具合削減から撲滅へ： 過去 3 年間の最小数字比 1/3 にまで削減

指標：2011 年度 損害金額(標準原価) ＝ 過去 3 年間の最小数字

- 実績： 33.4%増（2011 年度実績対比）

⇒ **目標未達のため 2014 年度環境目標として継続実施します。**

◆ 2014 年度環境目標

（1）エネルギー使用による CO^2 排出量の前年度比 2%削減

- 実績： 0.32%削減　　前年対比：期間 4 月～7 月

		電力（kWh）	LNG（m3）	総CO^2排出量	昨対削減比
2014年度 4月～7月	使用量	536,864.00	10,662.00	313.36	0.32%削減
	CO^2排出量（トン）	284.54	28.82		
2013年度 4月～7月	使用量	533,208.00	11,755.00	314.37	
	CO^2排出量（トン）	282.60	31.77		

注）電力については、両年度ともに(株)東京電力の 2013 年度の排出原単位(係数)を用いました。

（2）産業廃棄物排出量の前年度比 5%削減

- 実績：6.8%削減　　前年対比：期間 4 月～7 月

2014 年度：13,314 kg　2013 年度：14,290 kg　　前年度比：976 kg 削減

（3）水使用量（水資源の無駄な使用の抑制。用いた数値は工業統計資料用で暦年対比です）

- 実績：57.3%増加　　前年対比：期間 1 月～6 月

2014 年：1,010 m3　　2013 年：642 m3　　前年対比：368 m3 増加

・2014 年 1 月と 4 月のトイレ下水道の修理工事の際と、同年 2 月の 2 度の大雪の際にトラックヤードと付近道路の除雪作業のため、多量の水使用を余儀なくされました。さらに水漏れの可能性もあり、調査を行う旨、9 月 17 日実施の環境マネジメントレビューにて報告しました。

（4）環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規等	適用事項（事業活動、施設、物質等）	遵守状況の確認
廃掃法	廃アルカリ・廃酸・廃油・廃プラスティック等	マニフェスト管理、運搬・処理委託契約
騒音・振動規制法	印刷機6台	工業専用地域
下水道法	廃アルカリ・廃酸・廃油等	マニフェスト管理、運搬・処理委託契約
有機溶剤予防規制	印刷溶剤、クリーナー等	有機溶剤作業主任者選定・講習受講済み。リサイクル原料処理。
PRTR法	IPA	PRTR非該当。 適正量使用（5%以内）。
埼玉県生活環境保全条例	駐車場内アイドリングストップ	遵守されている。掲示板経年劣化、要交換。

当社に適用される主な環境関連法規等は上記の通りです。現在に至るまで、上記と他の環境関連法規への違反も、近隣及び利害関係者からの苦情も、関係当局からの違反等の指摘・訴訟についてもありません。

（5）化学物質使用量の把握

環境 ISO14001 の取り組みを通じて、当社で使用する原材料・資材・副資材において PRTR 法指定物質に該当しその届出量に達しているものはないと判断し、詳細な量的把握については行って来ませんでした。今後は、EA21 の活動を通じて再調査し、化学物質使用量の把握に努めます。

（6）不具合削減から撲滅へ： 過去 3 年間の最小数字比 1/3 にまで削減

指標：2011 年度損害金額(標準原価) ＝ 過去 3 年間の最小数字

- 実績：2.4%増（2011 年度実績対比：期間 4 月~7 月）

2014 年度 4 月~7 月の 4 ヶ月間は、不良・不具合品発生が削減傾向にあり、年度を通じて目標達成に努めます。

5．経営者による見直し

（1）2014 年度 4 月~7 月期実績において、水使用量が昨対で非常に増えています。報告通り、水漏れの可能性が大きいので直ぐに調査すること。

（2）2013 年度の産業廃棄物の排出量削減において、2012 年度対比で 32%削減の実績を出したことは評価できるが、目標の 5%に対し大変大きな差異があります。この差異の原因について調べ直して報告すること。

（3）「CO^2 排出量の削減比率」や「産業廃棄物の排出量削減比率」について、単に実排出量だけではなく、現場にとって分かり易い“ 指標 ”が設定できるか否か検討すること。

6．これまでの環境保全活動の概要

環境 ISO 14001 の認証を 2002 年 3 月に取得し、以降取り組んだ主な環境保全活動の実績を下記に示します。

（1）CTP 化率の向上（対前年度比削減率）

この活動は、フィルム版･フィルム現像/定着液等の石油資源使用量の削減を目指して、またフィルム版使用に伴う修正用接着剤やクリーナー等の全廃を目標としました。

- CTP 化率実績の推移（下記の CTP 化率の%は、年度平均による数値です）

  参考値　2003 年度刷版製造数量　　PS 版：44,324 版　　CTP 版：18,274 版

  2003 年度：29%、2004 年度：42%、2005 年度：59%、2006 年度：82%、

  2007 年度：91%、2008 年度：95%

- 2008 年度 3 月期の CTP 化率は 98%に達しました。また、2006 年の 12 月には、本社設置のフィルムセッターを撤去し、自社に於けるフィルム版製造を廃止しました。現在では、顧客支給フィルムや保存版の使用は極小であり、CTP 化率は略 100%です。

（2）産業廃棄物の排出量削減について（対前年度比削減率）

参考値　2007 年度産業廃棄物排出量：85,047 kg

2008 年度：　8.5%削減、2009 年度：30.2%削減、2010 年度：10.6%削減、

2011 年度：24.0%削減、2012 年度：43.9%増加、2013 年度：32.1%削減

- 2012 年度の前年度対比での増加は、2011 年 3 月発生の東日本大震災と、タイ国大洪水に起因する経済的な影響が大きかったと判断しております。
- 2010 年 6 月からは、ブランケット洗浄廃液をリサイクル化し、それまで廃液として処分していたものを、全てリサイクル原材料として購入先業者に売却し、リサイクル品を購入して石油資源の再利用に努めています。

（3）エネギー使用による CO^2 排出量の前年度比 2%削減活動について（対前年度比削減率）

参考値　2007 年度 CO^2 排出量：932.75 トン

2008 年度：3.99%削減、2009 年度：5.26%削減、2010 年度：1.27%削減、

2011 年度：4.17%削減、2012 年度：2.52%増加

上記数値の算出は、(社)日本印刷産業連合会推奨の係数と算式を用いました。

- 2008 年 9 月：電力デマンドコントローラー導入
- 2012 年度の対前年度比増加に関しては、前年の東日本大震災発生による電力使用量削減運動とタイ国大洪水による経済活動低迷による影響も大であったと判断しております。

（4）水使用量の抑制/削減（用いた数値は工業統計資料用で暦年対比です）

- 年間の水使用量の推移

  2009 年：2,010 m^3、2010 年：1,695 m^3、2011 年：2,569 m^3、2012 年：1,231 m^3

- 2011 年の大幅な増加は、上水給水ポンプが 3 月に故障したことに因るものでした。

（5）上記以外の主な環境保全活動

- 年坂戸事業所に LED 照明を導入

  2011 年 10 月：印刷部と用紙倉庫に計 303 本、2012 年 12 月：製本部に計 222 本

  （参考：本社には、冷陰極管方式の CCFL 管を計 250 本導入）

以上